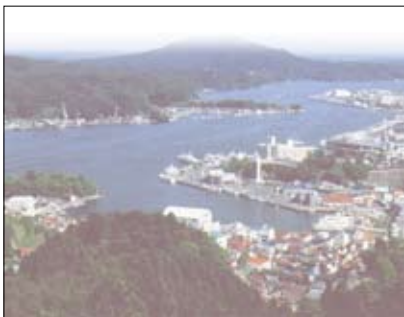
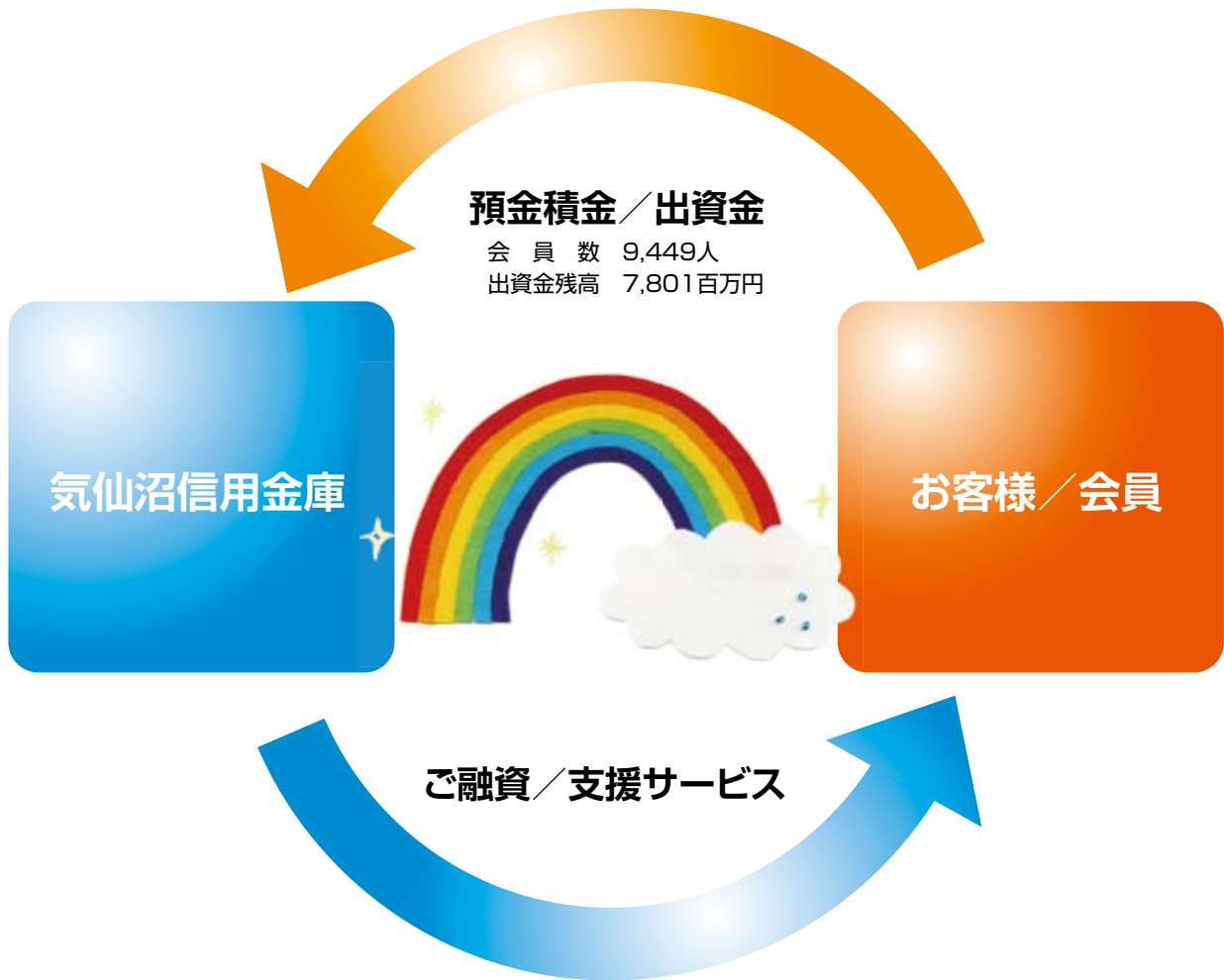


当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、宮城県北、岩手県南地域を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互い理解していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



気仙沼内湾全景(震災前)





1. お客様の預金について

当金庫の24年3月末の預金積金残高は1,205億円です。お客様からお預かりした大切な預金は、みなさまから信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

なお、取り扱っている商品については、26ページをご覧ください。

2. 地域のお客様へのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆様へのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心がけております。

【貸出の運営方針】

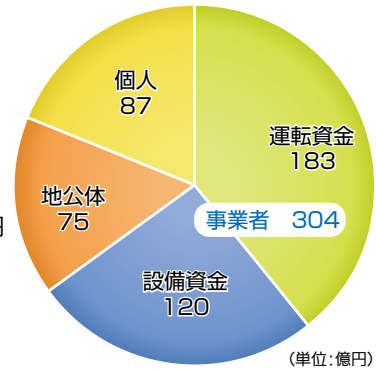
地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援します。

- ①大口に偏重することなく、多数のお客様にご利用頂けるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
- ②住宅資金や教育資金等公共性の高い資金需要に対しては積極的に支援します。
- ③業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

平成23年度における当金庫の貸出残高は【図1】の構成となっております。なお、当金庫で取扱っている商品については、27ページをご覧ください。

【図1】貸出金残高構成

貸出金残高 467億円
預金積金における
貸出金の割合
38.79%



3. 地域のお客様へのご支援について

当金庫は、疲弊した地域経済の中において、地域活性化、企業再生のために、地域取引先との人：地：機といった濃密な縁で相談のっております。

業務、財務内容等についての確かな分析を行いながら、改善策、経営改善計画書への適切なアドバイスを通じて、支援に取り組んでおります。

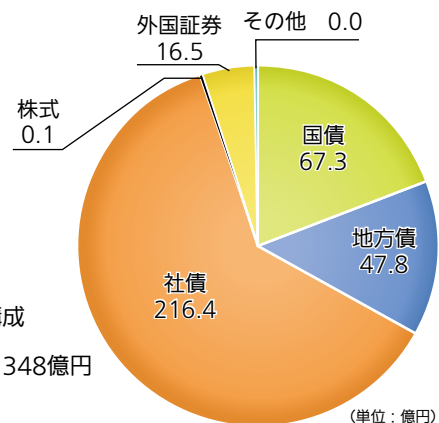
また、会員約500名の「さざなみグループ」が外郭団体としてあり、毎年旅行、新年交歓会等のなかで、長年に亘り会員相互の親睦を育んで参りました。

4. ご融資以外の運用について

当金庫はお客様の預金を、ご融資の運用の他に信金中金への預け金及び有価証券による運用も行っております。この余裕資金の運用にあたっては、安全性や収益性の確保に留意しながら、流動性が高い運用資産の充実に努め適正な支払準備資産を確保しています。

【図2】有価証券残高構成

有価証券残高 348億円



気仙沼信用金庫の地域密着型金融の取組みの状況 ～東日本大震災からの復旧・復興への取組み～

『三陸復興トモダチ基金』の創設および東北財務局からの「地域密着型金融に関する取組み」への顕彰

東日本大震災からの地域経済の復興を支援するため、米国NGO「メーシーコープ」と国内NPO「プラネットファイナンスジャパン」と連携し、「三陸復興トモダチ基金」を創設しました。この基金による雇用支援、創業・新事業支援の助成金制度を導入するとともに2年間の利子補給型ローン商品「地域力」（被災者向け）ならびに「フロンティア」（起業および創業者向け）を提供し、地域経済の活性化に取り組んでおります。基金創設後の活動が提携先のNGO・NPOからも評価され、200万ドルの基金増額が決定しており、今後も更なる地域経済活性化に向けて有効に活用してまいります。

また、この取組みに対し東北財務局からも「平成23年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰」を受けております。

○助成金実績

雇用助成	38先	47人	56百万円
創業助成	17先		25百万円

○融資実績

「地域力」	51件	379百万円
「フロンティア」	3件	16百万円



南支店・盛支店に融資相談ブースの設置

営業中の店舗では、自店エリアを超えた被災者からのさまざまな相談にも対応できるよう、平成23年3月に南支店、同年4月に盛支店に「融資相談ブース」を設置し、営業休止店舗の営業店長や本部審査課職員を配置することで、被災されたお客様にかかる返済猶予や条件変更に応じております。



復興支援課の新設

復興支援に関する情報の収集・ご提供および融資を通じた地域企業支援（ビジネスマッチング、経営改善支援等）を行うための統括部署「復興支援課」を新設しました。7名の人員を配置し、地元の金融機関として、地域企業との信頼関係構築を最優先に訪問活動を展開し、地域復興に伴うニーズの的確な把握に努めながら、事業者が抱える課題に真摯に向き合い共に解決を目指していくことで地域経済の復興・活性化に貢献してまいります。

○復興支援課の活動実績（23年4月～24年3月）累積訪問件数 1,503件

融資提案 111件	4,439百万円	融資実行 99件	3,070百万円
-----------	----------	----------	----------



災害復興支援チーム等の編成

営業休止中の店舗につきましては、営業中の店舗による代替営業を行っておりますが、これに加え、「災害復興支援チーム」「大島地区・唐桑地区特別チーム」を編成し、「法人営業推進チーム」とともに、休止店舗の被災したお客様を中心とした状況把握に努め、返済条件の変更や新規融資のご相談に対応してまいりましたが、平成24年3月に「法人営業推進チーム」および「災害復興支援チーム」は、「復興支援課」へその業務を引継いでおります。

今後につきましても「大島地区・唐桑地区特別チーム」や営業店が窓口となり、「復興支援課」と連携しながら、引き続きお客様の状況把握に努めるとともに融資のご相談に真摯に対応し、地域経済の復興および活性化にむけて金融仲介機能を発揮してまいります。

○訪問先数実績(東日本大震災以降、平成24年3月末までの累計)

災害復興支援チーム	大島地区・唐桑地区特別チーム	法人営業推進チーム	計
733先	607先	1,503先	2,843先

目利き能力や経営改善支援能力等向上のため信金中央金庫から講師を招いての研修

当金庫は、東日本大震災からの復旧・復興の支援に向けたさまざまな取組みを進めていくためには、地元の金融機関として地域固有の情報を活かした、課題解決型金融サービスを提供できる人材の長期的かつ組織的な育成・活用が不可欠であると考えの下、人材育成に取り組んでおります。平成24年2月9日～10日に信金中央金庫主催の「中小企業経営改善支援実務研修」を24名の職員が受講しました。

また、同年2月20日に「プロジェクトファイナンスの考え方について」を16名の職員が受講しました。計数分析のみに偏らず、企業の特徴を加味した総合診断に基づくコンサルティング能力等の向上を図ります。



『ビジネスマッチ東北2012春』(24年3月13日)への参加

『ビジネスマッチ東北』は、東北の魅力あふれる企業や来場者が主体となり活発な企業間交流やマッチング機会の創出を目的に開催される東北地区信用金庫協会主催のイベントです。東日本大震災の影響から開催規模の縮小を余儀なくされましたが数多くの交流、商談が行われました。当金庫ではお客様の出展および商談・取引が活発に行われるよう各企業を支援いたしました。

なお、今回の開催に際しまして新たに東北地区および首都圏での販路開拓を支援する「ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業」が展開され、当金庫のお客様について5先が支援を受けることが決定しております。当金庫は、販路拡大機会として、お客様の同イベントへの参加を今後も支援してまいります。



○「ビジネスマッチ東北2012春」実績

出展企業：7企業	商談：46件	成約：13件
----------	--------	--------



東北復興支援カタログ「しんきんの絆」での地域企業の商品PR

東北復興支援カタログ「しんきんの絆」は、全国の信用金庫役職員から多数寄せられた「商品の購入等を通じて、被災地域の中小企業を支援したい」との声をもとに全国約12万人の信用金庫役職員および関連団体役職員が購入者となって販路支援を行う取組みであります。当金庫では、地域企業のカタログへの商品応募を支援いたしました。この取組みは、第二弾の実施に向けて準備を進めており、継続的に地域企業の販路拡大を支援してまいります。

○東北復興支援カタログ「しんきんの絆」への掲載ならびに受注額

10先 11品

受注額 合計 7,016千円

専門家による相談会の開催

当金庫は、多面的な経営改善支援を実施していくうえでは、専門家の外部意見等を活用していくことも有効であるとの考えの下、「ビジネスマッチ東北ハンズオン支援事業」に取り組むとともに、地元商工会議所や（独）中小企業基盤整備機構が有する各種専門家の派遣事業とお客様を結び付けていく役割を担いたいと考えております。



復興へ頑張ろう!みやぎ金融応援キャンペーン

当金庫を含めた県内金融機関および東北財務局、宮城県で構成される「宮城県震災復興金融協議会」では、平成24年3月から4月にかけて「復興へ頑張ろう!みやぎ金融応援キャンペーン」と銘打ち、二重ローン問題等の解消に向けた取組みに着手しております。平成24年3月8日には、気仙沼市にて「復興へ頑張ろう!みやぎ金融応援セミナー」を開催し、産業復興機構をはじめとする各種支援制度の啓蒙に取り組んでおります。

なお、当金庫は、本活動の一環として、平成24年3月1日～4月30日までの毎週水曜日に、金融応援キャンペーンを開催いたしました。応援キャンペーンには新規融資や既往債務の返済等のご相談が多数寄せられました。



「RIAS e（環境）・e（経済）」（地域再生支援活動）①：気仙沼市に太陽光LEDライトを寄贈

当金庫は、地域活性化支援企画「RIAS e（環境）・e（経済）」^(注)の理念にもとづき、平成23年11月17日、気仙沼市に太陽光LEDライト21基を寄贈いたしました。

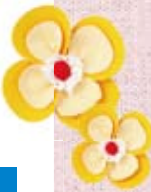
この設備は、自然再生エネルギー普及に取り組んでいるサステナジー(株)の提供によるもので、市民有志からの寄付金も一部利用しております。この太陽光LEDライトは、昼間に蓄電した太陽光エネルギーを夜間発行するよう設定されており、小型ではあるものの4～5mの範囲を照射できます。気仙沼市の協力を得て大島汽船の発着所であるエースポートに12基と大島に9基を設置しました。震災後から岸壁に照明がなかったことから、凹凸や高潮による冠水時などに船舶利用者や歩行者の安全確保が心配されていた事を知った当金庫が同社に協力を依頼し実現しました。



(注) 「RIAS e（環境）・e（経済）」

当金庫では、地域コミュニティの形成支援を経営課題としており、平成17年に事業区域を総称とするリアス式地域からヒントを得た企画を立ち上げ、毎年地域活性化に向けた面的支援を実施しております。





「RIAS e (環境) ・ e (経済)」 (地域再生支援活動) ② : 気仙沼地域エネルギー開発株式会社への参加

震災以降、災害時のエネルギー確保や安心安全な再生可能エネルギー（太陽光や地熱、木質バイオマス等）への関心が高まり、各地方自治体が策定した復興計画においても、災害に強い自立、分散型エネルギーの構築は重要な課題として位置づけられております。

当金庫では、これらの取組みにおいては、スピード感および専門的な知見が必要と考え、ESCO事業等の研修会への参加や盛岡信用金庫での先進プログラムの視察等を重ね、ノウハウ習得に努めてきました。平成24年2月には、民間組織との協働による「気仙沼地域エネルギー開発株式会社」の設立への参加等を通じ、再生可能エネルギーの導入を支援しております。同社は、公共施設や企業、家庭への再生可能エネルギーの導入を通じて、地域の環境保護意識の醸成、観光業の発展および産業の多様化や雇用の創出に貢献することを事業理念としております。

今後も、このような取組みを加速させ、水産業・観光業が主要産業である三陸沿岸地域において、食を核とした観光や視察旅行誘致による交流人口の増加、産業の多様や雇用の創出にも貢献してまいります。

気仙沼育英会の運営資金寄贈

当金庫では、地域の教育文化活動への支援の一環として、毎年、(財)気仙沼育英会へ運営資金の寄贈をおこなっております。

中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条・第5条に基づく措置の実施状況(平成21年12月からの累計)

〔債務者が中小企業者である場合〕

(単位：件、百万円)

	平成24年3月末	
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権	1,127	20,924
うち、実行に係る貸付債権	1,083	20,149
うち、謝絶に係る貸付債権	3	3
うち、審査中の貸付債権	18	493
うち、取下げに係る貸付債権	23	277
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権の額	492	6,026
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権の額	0	0

〔債務者が住宅資金借入者である場合〕

(単位：件、百万円)

	平成24年3月末	
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権	256	2,371
うち、実行に係る貸付債権	239	2,223
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0
うち、審査中の貸付債権	4	37
うち、取下げに係る貸付債権	13	111

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

経営改善支援等の取組み実績【23年4月～24年3月】

(単位：先数)

(単位：%)

		期初債務者数					経営改善支援取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
		A	うち経営支援取組み先数			δ			
			α	β	γ				
正常先	①	804	0	0	0	0.0%			
要注意先	うちその他要注意先	②	160	10	0	5	6.25%	0.0%	50.00%
	うち要管理先	③	10	1	0	0	10.00%	0.0%	0.0%
破綻懸念先	④	8	1	0	1	12.50%	0.0%	0.0%	
実質破綻先	⑤	55	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先	⑥	24	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (②～⑥の合計)		257	12	0	6	4.67%	0.0%	41.67%	
合計		1,061	12	0	6	1.13%	0.0%	41.67%	

